

15 真の宗教と社会倫理定義へのいざない

【全4回】／開催方法：現地のみ

しゃく
こしん
釈 悟震

- ・中村元東方研究所
常務理事
- ・中村元記念館
東洋思想文化研究所
副所長
- ・文学博士
- ・スリランカ国立
ペーラデニヤ大学
客員研究員
- ・中村元東方研究所
副総括研究員



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：10月15日)

【日程・時間】【全4回】 10月20日(日) 13:20~14:50・15:00~16:30
10月21日(月) 10:30~12:00・13:20~14:50

■受講に必要なもの

[テキスト] **古書店等でお求めください。**

但し購入出来なかった方々には「担当講師より講義分複写」にて対応しますのでご安心なさいませう。

『宗教と社会倫理—古代宗教の社会理想』

著者：中村元著

出版社：岩波書店

出版年：1983

【講義の内容】

〈宗教はどのような社会理想を目指していたのか〉といういざないを、不動の根本仏教のみならずを育む古代インドの思想により今によみがえさせる講義として昇華できることを大いに期待をいたしております。

日本において「宗教」という言葉は、社会的な事件が起きたときに否定的に取り上げられがちです。しかし、そもそも宗教には人々の幸福を願う理想があったに違いないと思います。そして今日の日本でも、政教分離の原則はあれども、宗教と社会・生活は密接な関係にあります。

宗教と政治／国家／経済／社会政策の関係や、インド宗教の根幹ともいべきヒンドゥー教や原始仏教の思想が古代インドのみならず、今日に至るまで全人類の社会理想にどのように関わっていたかを、中村元博士がまとめあげた「不朽の名著」から、そのいざないを学びたいと思います。

最初期の仏教聖典の根本思想を中心に、不朽の人類の聖典ともいべき古代インド思想が刻まれているウパニシャッドや関係ある諸々の思想から導き出す真の宗教と社会倫理の定義を中村元先生以外のどなたにも触れることが出来なかった真髓へのいざないを本講義ならであるからこそ実体験できることをお願いいたします。